

04練馬区立中村中学校 課題改善カリキュラム(音楽)

ようすをおもいうかべてシリーズ

9年間の歌唱領域				身につけたい3つの資質・能力			
	題材名・教材	学習内容	共通事項	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう人間性	取り組みの工夫
1年	「ようすをおもいうかべてあらわそう」 ・うみ	曲想と音楽の構造との関わり、歌詞の表す情景や気持ちとの関わりを生かし、表現の仕方を工夫して歌う。	☆拍、旋律、速度、強弱、フレーズ	3拍子のリズムによって、旋律の美しさを感じ取りながら、たっぷりとした息でそれぞれのフレーズを歌っている。	歌詞の内容を理解して様子を思い浮かべて歌い方を工夫し、思いをもって歌っている。	友達と歌や言葉で交流し、共有したり共感したりしたことを、自らの歌唱表現に生かそうとしている。	・1年生に、音楽の学習の要となる「曲想について」理解できるようにする。 「曲想」とは、その曲がもっている雰囲気や味わいということを押さえる。 ・CD伴奏や範唱から感じ取った海の様子の話合いや歌詞の朗読を生かして歌う。 ・フレーズをより意識して歌えるように、身体表現を工夫し、フレーズの終わりまで歌う意識をもてるようにする。 ・表現の工夫や活動のよさについて教師が取り上げ価値付けをする。
2年	「ようすをおもいうかべてあらわそう」 ・夕やけこやけ ・虫のこえ ・村祭り	曲想と歌詞の表す情景や気持ちとの関わりに気付き、声の出し方や強弱などを工夫して歌ったりする。	☆旋律、リズム、フレーズ、音色、拍、速度、強弱 ★呼びかけとこたえ、反復	曲想と歌詞の表す気持ちや情景との関わりに気付き、思いに合った表現を工夫して歌う。	曲想を感じ取り、声の出し方や強弱などを工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	友達と一緒に音楽活動にする 楽しさを感じ取りながら、音楽に親しむ。	・歌詞を深く理解し表現の工夫につなげられるように、範唱や教科書の挿絵やから情景を思い浮かべるようにする。 ・旋律の動きを線で表し、手を動かしながら歌い上行下行や曲の山を捉えて歌うようにする。 ・強弱や速度、発音などを変えて歌い、表現を比較することで思いに合う歌イ方を身につけられる様にする。 ・ペアやグループで目的に合った学習ができるように、手順や方法を明確に提示し見通しがもてるようにする。
3年	「曲想をとらえて」 ・ふじ山 ・帰り道	曲想と音楽の構造や歌詞の表す情景との関わりに気付き、旋律の特徴を生かして表現を工夫する。	☆音色・フレーズ・強弱 ★反復・変化	付点のリズムによって、旋律の雄大さを感じ取りながら、曲の山を意識して歌っている。	歌詞の内容を理解して、声の出し方や強弱などを工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	友達と歌や言葉で交流し、共有したり共感したりしたことを、自らの歌唱表現に生かそうとしている。	・歌詞の意味を理解する。ふじさんの大きさが分かる歌詞を見つける。写真なども提示し理解を助ける。 ・付点のリズムを感じ取り歌えるように、体の動き(リズムをたたくなど)を取り入れる。 ・せんりつの動きとリズムや強弱などの関係について気付き、表現の工夫にいかせるように、歌に合わせて手拍子で強弱で表す活動を取り入れる。
4年	「様子を思いうかべて表現しよう」 ・もみじ	歌詞の内容から情景を思い浮かべ、曲想を生かして表現する。 旋律の重なりや響き合いを感じ取って合唱する。	☆旋律、フレーズ、音の重なり、強弱、音色 ★呼びかけと答え	互いの声や伴奏を聴き、自分の声を友達の声と調和させながら、ふさわしい表現で歌っている。	旋律の流れを生かし、互いの声を聴いて声部の役割に合う表現を工夫し、どのように歌うかについて自分の考えや願い、意図をもっている。	歌詞の内容から情景を想像して表現に生かしたり、互いの声を聴き合って合唱したりする学習に進んで取り組もうとしている。	・歌詞の意味を理解し、情景を想像する。秋を感じる言葉を探したり、写真を提示したりして、理解を助ける。 ・旋律の動きを手で表すなどして、フレーズや曲の山を捉えて歌うことができるようになる。 ・音の重なり方を理解できるように、拡大楽譜で各パートの旋律の動きを線で表したり、重なり方を書き込んだりする。 ・ペアやグループで歌うなどして、響き合いを感じながら歌うことができるようになる。
5年	「アンサンブルのみりよく」 ・いろいろな合唱 ・ハローシャイニングブルー ・組曲「カレリア」から「行進曲風」に」	歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫して、合唱を楽しむ。	☆旋律、フレーズ、音の重なり、強弱、音色 ★音楽の縦と横の関係、反復・変化	主な旋律や副次的な旋律、全体の響きを聴きながら、拍の流れにのり、自分の声を友達の声と調和させて合唱をしている。	曲の仕組みを理解し、歌詞の曲想を生かした表現を工夫しながら、どのように歌ったり演奏したりするかについて、思いや意図をもっている。	アンサンブルに興味・関心をもち、歌唱や鑑賞の学習に主体的に取り組もうとしている。	・歌詞の意味を理解する。写真を提示したり、作詞者からのメッセージしたりして、理解を助ける。 ・リズムや強弱などを変えて歌い、表現を比較することで、曲想を生かした表現ができるようになる。 ・各パートの旋律の動きを線で表し、音の重なりについて理解することができるようにする。
6年	「豊かな表現を求めて」 ・明日を信じて ・ス ワンダフル	音楽の仕組みを生かし曲想をとらえて、曲に合った表現を工夫する。	☆旋律、フレーズ、音の重なり、強弱、リズム、音色 ★呼びかけと答え、音楽の縦と横の関係	歌詞の内容や曲の構成を理解し、全体の響きや伴奏を聴きながら、ふさわしい表現の仕方表情豊かに歌っている。	音楽を形づくっている要素やかかわり合いを聴き取り、それらが生み出すよさなどを感じ取りながら、歌詞の内容や曲想を生かした表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞や曲想を生かして演奏することに興味・関心をもち、豊かな表現を目指して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・思い浮かぶ様子やどのような気持ちで歌いたいかなどについて話し合い、言葉と旋律のもつリズムのかかわりをとらえて歌うことができるようになる。 ・これまでの学習を生かし、気付いたことを拡大楽譜に書き込むなどして、旋律の特徴や音の重なりなどについて理解する。 ・歌詞の内容やにに合わせて体を動かすなどして、歌詞が表す様子を表現に生かすことができるようになる。

中1年	「情景を思い浮かべながら 思いを込めて歌おう」 ・赤とんぼ	フレーズ、旋律線のもつ方向性、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、歌う。	☆旋律・強弱・音色	歌詞の内容や曲想を生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	フレーズ、旋律線のもつ方向性、強弱の変化を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を感じ取って音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思い意図をもっている。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・「作詞者の言葉」や縦書きの詩を朗読して、言葉の意味を理解し、作詞者の思いや情景を想像できるようにする。 ・2フレーズに分けて歌いながら、言葉の抑揚と旋律の結び付き、旋律線のもつ方向性と強弱とのかかわりに注目させ、気づいたことを話し合わせたり、発表させたりする。 ・どのように歌うかについての自分の考えや、特に音楽表現を工夫するポイントを持ち、歌唱表現で実行できるように促す。
中2年	「歌詞の内容や曲想を感じ取り、拍の流れにのって合唱しよう」 ・夢の世界	8分の6拍子、混声3部合唱のテクスチュア、二部形式による前半と後半の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。知覚・感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって音楽表現を工夫し、合唱する。	☆リズム・旋律・強弱・テクスチュア ★形式、構成	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	8分の6拍子、混声3部合唱のテクスチュア、二部形式による前半と後半の変化などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして、8分の6拍子の特徴をとらえられるようにする。 ・前半部分と後半部分の音楽的特徴の違いを見つけ、それらの働きが生み出す特質や雰囲気の違いを味わえるように授業展開を工夫する。 ・歌詞の内容と曲想のかかわりを実感を伴って味わえるように、授業展開を工夫する。(作曲者はなぜこのように作曲したのかを話し合わせる、など。)
中3年	「情景を思い浮かべながら、言葉を大切に歌おう」 ・花	歌詞の内容と曲想のかかわりを知覚・感受し、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う。	☆リズム・速度・旋律・強弱	歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。	旋律の特徴や強弱、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。	・歌詞を音読するなどして内容を理解し、情景を想像させる。 ・2、3番について、1番と旋律やリズム、強弱の違いを確認し、音高や休符、強弱の効果を感じ取りながら歌う。 ・3番の歌詞で、作詞者の感動が書かれているところと旋律との関係を考え、どのように表現すると作詞者の思いを伝えられるのかを考えさせる。